

各種材質による平均的音質特性解説

材質名	硬軟度	重軽度	適用	平均的特性
アッシュ シエクター製	中	中	ボディ材	USAの多くのメーカーが、アッシュ材というカナダなどの北方で採れるノースアッシュを使用しているのに対して、シエクターはアメリカ本土の中央部から南東部で採れるサウスアッシュのみを使用しています。 その理由は、サウスアッシュがノースアッシュに比べ重量が軽く、また音質的にも高域から低域までのバランスに優れ、適度の弾力性と音のぬけの良さを備えているからです。 ギターにもベースにも巾広くミュージシャンに愛されています。
セン ムーン製	中	中	ボディ材	主に北海道を産地とし、一般家具材として有名です。国内のメーカーに5、6年前から楽器材として使用されはじめ、今ではエレクトリックギター&ベースのポピュラー材となっております。 木目もなかなか美しいものが得られますが、心材（木の中心部）と辺材（木の皮に近い部分）とで繊維密度に大きな差がある為、ボディ材として使える部分とそうでない部分がはっきり出ます。音質的には全体的にまろやかで、セン材独自の粘りを備えています。心材周辺部分のある程度の重量を備えたもの以外は音にコシが出ず使えません。
メイプル シエクター製 ムーン製	硬	重	ボディ材 ネック材 ラミネート材	楽器には大変幅広く使用されている材で、ネック材、ボディ材として欠かせない存在です。 ギターのボディ材として使用した場合、クリアーで、かつまろやかな音質が得られますが、全域に渡って立ち上がりが早すぎる為、コードワークプレイ中心のバックイングミュージシャンには良いのですが、多くのミュージシャンにはそのすっきりとまとまりすぎた音質が不満となる場合が多いようです。 ベースのボディ材とした場合、メイプル材特有の重みのないまろやかな重低高とクリアーな中高域が魅力です。 またネック材としてメイプルを使用した場合、メイプルワンピースにおいては音の輪郭のすっきりしたクリアーな音質を生み出し、指板にローズウッドを貼り合せた場合、音は甘く、固さのとれた音質に変化します。 またエボニー指板にした場合は音の立ち上がりの早さと音質の固さが、メイプル指板とローズウッド指板の双方の要素を備えたネックとなります。
ローズウッド シエクター製 ムーン製	硬	重	ボディ材 ネック材	高級材として有名です。 指板材としては昔から使用されては来ましたが、ボディ材、ネック材として本格的に使用されたのは最近のことです。 音質的には、音の粒立ちがはっきりしているがマイルドさをも備えており、上品なものです。もちろんコシの強さも一級品です。 ギターにもベースにもタイトなサウンドを生み出します。 しかし厚さが40mm以上ものボディ材とした場合、乾燥に大変手間がかかり、ハギ割れやソリなどを起こしやすい為、ボディ材としてはあまり製品化されていないのが現状です。
ウォルナット シエクター製 ムーン製	やや硬	重	ボディ材	ローズウッドによく似た木肌と色をしています。ウォルナットの方が木肌が荒く、薄い茶色をしています。 音質的にはローズウッドより固めでクセのある音質を備え、弾力性のあるアタック音は、ウォルナット特有のものです。
チーク シエクター製 ムーン製	中	重	ボディ材	インド・ビルマから取りよせた大変格調高く品のある材で、木肌に光沢があり高級家具材としても有名です。 薄茶色の美しい木目と共に、コシのある粘り強い音質とバランスの良さは一級品です。 ミュージシャンからの評価もたいへん高い材です。

材質名	硬軟度	重軽度	適用	平均的特性
ハワイアンコア シエクター製	硬	軽	ボディ材	ボディ材として最近注目され始めました。高級ウクレレがこの材で作られています。 あたたく、粘りを含む粘れた音質を持ち、楽器の中でも特にソリッドボディのギターに使用した場合、その味はフルに生きてきます。 レスポールモデルなどに、バックのマホガニーの代わりにこのコア材を使用すれば、一段とその味を増すでしょう。しかも軽量の割にコシが強い為、シエクターはレキヤスターのツウインハンバッカーモデルなどで、トップがメイプル、バックがこのハワイアンコアという仕様のモデルを製作しています。そのサウンドはマホガニーのラミネート仕様に比べ軽量、かつねばり強いサウンドを生み出しています。 ベースのボディ材でコア同様に軽くてコシのある木としてアルダー材がありますが、コアで作られたベースのボディのコシと粘りのあるサウンドは、アルダー材では絶対に得られないものです。
セジュア シエクター製	硬	重	ボディ材 ネック材	アフリカ産の緑色をした美しい木目の材で、たいへんコシの強い音質を持っています。それに加えて、粘れた粘り強さとアタックが高域から低域まで得られる為、ジャズミュージシャンからロックミュージシャン迄幅広いプレーヤーの評価を得ています。またネック材とした場合も、アタックと粘りを持った線の太い音作りが可能になります。
バドック シエクター製 ムーン製	硬	重	ボディ材 ネック材	赤茶色をした重量級の材です。ホワイアッシュ材の音質より固く、弾力性と荒さを備えた独特のサウンドを生み出します。しかしたいへんな長期乾燥を必要とし、割れも起きやすい材の為、ローズウッドなどと共に高価な材となっています。
インブーヤ シエクター製	硬	重	ボディ材	たいへん重く硬い材です。クリアーな音質なのですが線の太い音作りが可能な為アタックのきいた音質からタイトな低音まで、しっかりと音作りが出来ます。 ベースのボディ材に使用した場合、メイプル材の音質を固く少し荒れにした感じの重低音が得られます。
ゼブラウッド シエクター製	硬	重	ボディ材 ネック材	縞鳥のような木目からこの名がついたゼブラウッド。たいへん油分が多く、加工してもソリや割れが激しく、シエクターではめったに製品化しておりません。 音質は荒く、固いトレブリーな粘りを備えたものです。
パープルハート シエクター製	硬	中	ボディ材 ネック材	木肌が荒く、トラ目が出やすい木です。トレブリーな固い音質を持つ為、ソフトな音色が好みの方にはなじまないかもしれません。トレブリーなワイルドサウンドを求めている方に、音の荒さが魅力の材なのです。
マホガニー シエクター製 ムーン製	軟	軽	ボディ材 ネック材	この材もエレクトリックギター&ベースには欠かせないものです。主に中域、低域の音作りの為にメイプル材などとブライして使用される事の多い材ですが、単板材として使用した場合、粘れた落ち着いた音作りが可能な反面高域でのサステインに欠けます。 ネック材としては、やはり指板となるローズウッドやエボニー材とブライして使用する事がほとんどです。これは強度的な問題と、高域などの音作りのためです。 メイプルなどの高域作りに有効な材とブライする事でマホガニーの持つあたたかな厚みのある音色が生きてきます。
アルダー ムーン製	中	軽	ボディ材	オールドのフェンダー社製品のギター&ベース材に使用され、その粘れたコシのあるサウンドのファンが多い材です。しかしハードな音質（鋭い高域や重低音）は望めず、あくまでコシのある中域が特色となった粘れた音色を備えた材です。